

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和5年8月21日(2023.8.21)

【国際公開番号】WO2022/118751

【出願番号】特願2022-566886(P2022-566886)

【国際特許分類】

C 0 8 L 27/06(2006.01)

C 0 8 K 5/39(2006.01)

B 3 2 B 5/18(2006.01)

B 3 2 B 27/18(2006.01)

B 3 2 B 27/30(2006.01)

10

【F I】

C 0 8 L 27/06

C 0 8 K 5/39

B 3 2 B 5/18 1 0 1

B 3 2 B 27/18 Z

B 3 2 B 27/30 1 0 1

【手続補正書】

20

【提出日】令和5年4月6日(2023.4.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

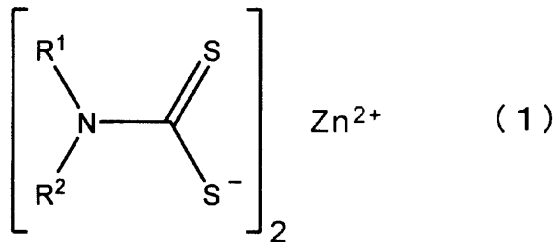
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式(1)で表されるジチオカルバミン酸亜鉛化合物の1種以上を含有することを特徴とする塩化ビニル系樹脂用耐アミン性付与剤。

30



一般式(1)中、R<sup>1</sup>およびR<sup>2</sup>は、各々独立して、炭素原子数1~20のアルキル基、炭素原子数6~20のアリール基または炭素原子数7~20のアリールアルキル基を表し、R<sup>1</sup>およびR<sup>2</sup>は連結してそれぞれが結合する窒素原子とともに環を形成してもよい。

40

【請求項2】

前記塩化ビニル系樹脂が、自動車内装材用の塩化ビニル系樹脂である請求項1記載の塩化ビニル系樹脂用耐アミン性付与剤。

【請求項3】

前記自動車内装材用の塩化ビニル系樹脂が、塩化ビニル系樹脂成形体とポリウレタン発泡成形体との積層体からなる自動車内装材で使用される塩化ビニル系樹脂成形体の原料樹脂である請求項2記載の塩化ビニル系樹脂用耐アミン性付与剤。

【請求項4】

50

塩化ビニル系樹脂用の安定剤の1種以上と、請求項1～3のうちいずれか一項記載の塩化ビニル系樹脂用耐アミン性付与剤と、を含有することを特徴とする塩化ビニル系樹脂用安定剤組成物。

【請求項5】

塩化ビニル系樹脂と、請求項1～3のうちいずれか一項記載の塩化ビニル系樹脂用耐アミン性付与剤と、を含有することを特徴とする塩化ビニル系樹脂組成物。

【請求項6】

塩化ビニル系樹脂用耐アミン性付与剤の含有量が、前記塩化ビニル系樹脂100質量部に対して0.005～3.0質量部である請求項5記載の塩化ビニル系樹脂組成物。

【請求項7】

粉末成形用である請求項5記載の塩化ビニル系樹脂組成物。

【請求項8】

請求項5記載の塩化ビニル系樹脂組成物から得られることを特徴とする塩化ビニル系樹脂成形体。

【請求項9】

塩化ビニル系樹脂成形体とポリウレタン発泡体との積層体であって、前記塩化ビニル系樹脂成形体が、請求項5記載の塩化ビニル系樹脂組成物から得られることを特徴とする積層体。

【請求項10】

請求項8記載の塩化ビニル系樹脂成形体を含むことを特徴とする自動車内装材。

【請求項11】

請求項9記載の積層体を含むことを特徴とする自動車内装材。

【請求項12】

塩化ビニル系樹脂成形体とポリウレタン発泡成形体の積層体を含む自動車内装材の変色抑制方法であって、請求項1～3のうちいずれか一項記載の塩化ビニル系樹脂用耐アミン性付与剤を、塩化ビニル系樹脂成形体の原料樹脂である塩化ビニル系樹脂に配合することを特徴とする変色抑制方法。

10

20

30

40

50